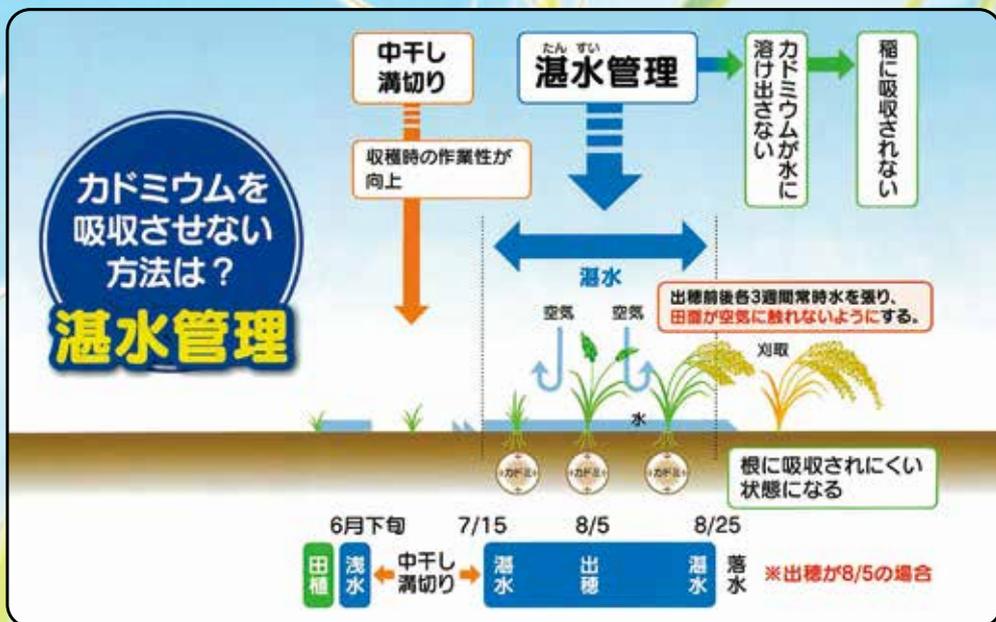


カドミウムを稲に吸収させないために、  
 湛水管理は最も効果のある対策です。  
 7月中旬～8月下旬は湛水管理を必ず実施しましょう。

**実施!  
 徹底!**

**湛水管理!**



## 湛水管理のポイント

- 6月下旬から中干しを開始し、強い中干しは避ける!
- ぬかりやすく、水はけが悪い水田では中干しの際に、溝切りを実施!
- 出穂前後各3週間は常時水を張り、田面に空気を触れさせない!  
 落水は遅めに!

## ～汚染米が発生すると～

基準値を超えた米は、湛水管理の実施を条件として、県が買入処理を行います。ただし、同一生産者において、汚染米が連続発生した場合、県の買入価格が減額となります。

◎2年連続発生……………通常買入価格の1/2の価格

◎3年以上連続発生……………通常買入価格の1/3の価格

(例)通常買入価格が、5,700円/30kgの場合 ◎2年連続発生……………2,850円/30kg

◎3年連続発生……………1,900円/30kg

※出荷の際は、一団のほ場別に、**150袋(30kg)以下で出荷**しましょう。